

令和5年度政務活動報告書（会派用）

（令和5年4月1日～7月1日）

会派名 **自由民主党**

代表者名 **岡部恒司**

政務活動テーマ	活動内容
<p>市政推進のための調査研究</p> <p>■全世代型社会保障の充実</p>	<p>昨年に引き続き仙台市を取り巻く環境は少子高齢化の急速な発展とともに急速に進展する人口減少の時代に加え、長引くコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源、電気、食料品等の価格高騰が本市と市民の経済を圧迫し、特に生活困窮者の暮らしを直撃するとともに、中小・小規模事業者を中心とした事業活動にも深刻な影響を及ぼしている。加えて中国や北朝鮮による、我が国に対する挑発的行為が活発化するなど、本市を取り巻く環境は年々厳しさを増している。一方でAIに代表されるデジタル技術の革新は日進月歩であり大きな変革期の時代を迎えている。このような時代において、本市は今一度市民の暮らしと安全を守り、住民の福祉向上と幸福度を最大化するという原点に立ち返るとともに、コロナ後を見据えた都市間競争に打ち勝つべく、時代変革の波に果敢に挑み、また「課題先進地」と言われる東北で唯一の政令指定都市として先進的なモデルを打ち出すなど、東北全体を牽引するため常に新たな挑戦をしていく役割がある。私達会派自由民主党は重点課題として以下の項目を掲げ調査研究を行いました。</p> <p>少子高齢化が進む中、「子どもを産み育てやすい社会」「介護」の問題に対し、良好な子育て環境づくりを進め、国が進める幼児教育の無償化に伴い、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる「ゆりかごから墓場まで」環境の整備、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、「全世代型社会保障」の実現に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●待機児童解消に向けた幼保連携による環境整備、兄弟別園問題について調査研究 ●処遇改善による人材不足対策や質の確保の取り組み、幼児教育の充実促進について調査研究 ●妊娠、出産から子育て、また、一体的支援に関する体制整備の構築に関する調査研究 ●児童センター職員の充実など地域子育て支援強化について調査研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
<p>■市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●NPO等による学習・生活サポート支援や、子供食堂の子供の貧困対策の推進について調査研究 ●介護サービス基盤と地域包括ケア充実による地域での支え合いに関する調査研究 ●障害者の就労支援体制づくりと障害者理解の促進について調査研究 ●医療や救急体制の充実など市民の健康増進体制づくりについて調査研究 ●保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等におけるDXの推進についての調査 <p>自然災害等の様々な脅威から市民の生命と財産、生活を守り、防災・減災に戦略的な取組み、新型コロナウイルス感染予防をはじめとする公衆衛生対策、防犯対策や交通安全、空き家対策等に対する以下の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豪雨等をはじめとする災害時の即応の対応など、関連する法整備の推進に関連した調査研究 ●東日本大震災の被災者への支援と復興の完遂について調査研究 ●災害時の情報連絡体制の強化に関する調査研究 ●大震災の経験の伝承と防災環境都市としての発信について調査研究 ●復興事業の進捗に対応した国からの財源措置等について調査研究 ●消防団の充実強化、デジタル化に関する調査研究 ●交通指導隊の定員充足率向上に関する調査研究 ●空き家対策など市民の安全・安心の拡充について調査研究 ●無電柱化を含む道路インフラの局所対策への調査 ●個別避難計画の作成など災害対応のデジタル化の推進への調査 ●改正災害救助法等の実施や対応に関する調査研究 ●通学路の点検を踏まえた安全確保に関する調査研究
<p>■確かな教育の確立と次世代育成策の推進</p>	<p>子どもたちがたくましく生き抜く力を育み学力向上に向けた取り組みといじめ問題への対応、特別支援教育などの教育を取り巻く諸課題に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子供・子育て支援の新制度である認定こども園等の有効な活用と事業者との連携に関する調査研究 ●教職員定数をはじめ、指導手法や指導体制の充実など学校向上策の推進について調査研究

※この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■地域経済の活性化と経済政策の更なる推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●さらなる少人数学級の拡大推進について調査研究 ●幼保小連携の促進により未就学児接続への取り組みについて調査研究 ●学校施設やICTなど良好な教育環境づくりについて調査研究 ●いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化について調査研究 ●個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想推進への調査 ●不登校の未然防止と民間フリースクールの連携、更に全中学へのステーション設置の促進への調査研究 ●コミュニティー・スクールの更なる推進への調査研究 ●就学機会が失われた方々のための公立夜間中学の開校への調査研究 ●特別支援教育(学級)の推進の充実について調査研究 ●社会教育施設の機能強化など生涯学習の充実について調査研究 ●学校施設における特別教育、体育館への空調設備の整備促進とトイレの洋式化など教育環境の充実に向けた調査 <p>市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上を支えるための基盤づくりと地場産業・中小企業の活性化や起業促進、交流人口の拡大、都市型の農業づくりなど、地域経済政策を加速させ、力強い雇用と消費を実現する為、以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援について調査研究 ●市内大学連携による地域づくりと活性化対策に関する調査研究 ●次世代放射光施設ナノテラスの整備促進と企業の研究部門集積にかかわる調査・研究 ●国家戦略特区や最先端のイノベーションを活用した競争力強化について調査研究 ●スーパーシティー構想実現への調査研究 ●JR 仙台駅や仙台空港、仙台港の更なる機能の強化・拡充に関する調査研究 ●魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺、青葉通り、仙台駅前の再開発をはじめとする中心部の再生についての調査・研究 ●仙台の魅力発信とインバウンドを含めた東北の交流人口の更なる拡大、県内外の都市との連携について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>■責任ある財政運営と財政基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東北観光復興対策交付金等の期間延長や財政のあり方の調査研究 ●国際級会議（学会）の誘致促進について調査研究 ●担い手の育成・確保と農地の集積、集約化による生産基盤強化に関する調査研究 ●付加価値の高い都市型農業づくりや後継育成等について調査研究 ●RPA 導入、利活用を通じた行政手続き、市民サービス、地域・経済活動のデジタル化を推進するための調査研究 <p>持続的に市政の課題に対応し、責任ある財政運営と強固な財政基盤の確立に向けた税収増につながる長期ビジョン事業等への予算配分や、国に対しても、財源確保に努め、国からの税源移譲や課税自主権の強化などに対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方交付税等の税源確保に向けた国へのはらたきかけと関連した調査研究 ●事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化について調査研究 ●徴収体制の強化による市税、国民健康保険料等の収納率向上について調査研究 ●公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進について調査研究 ●地方分権や大都市の財政需要等に対応した税源移譲の推進に関する調査研究 ●マイナンバー制度の活用促進と効率的な活用についての調査研究 ●国庫補助金等による重点的な財源支援に関する調査研究
<p>■未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり</p>	<p>仙台市が未来に向け、地域が持つ力を最大限に発揮することのできる環境づくり「杜の都」の環境や文化、都市インフラの充実に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「杜の都」の環境保全等、緑あふれる街づくりの推進について調査研究 ●市有施設の長寿命化計画を進める為の維持管理等に関する調査研究 ●伊達文化を生かした都市の魅力づくりについての調査研究 ●きめ細やかな地域づくりの取り組みへの支援強化について調査研究 ●道路や交通、下水道、橋梁、無電柱化など市民生活を支える都市インフラの老朽化対策と充実について調査研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の目線を取り入れた本庁舎並びに議会棟の建て替えに向けて調査研究 ●文化の振興、拠点となる音楽ホール、中心部震災メモリアルホール合築へむけ青葉山交流広場への早期建設について調査研究 ●温室効果ガス削減に向けた環境保全の推進とリサイクル等の資源化対策の調査研究 ●ゼロカーボンシティ取り組みへの調査研究 ●人口減少地域に対応した公共交通網整備に関する調査研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 5 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 7 月 31 日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 岡 部 恒 司

政務活動テーマ	活 動 内 容
○高齢者社会の福祉対策	一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加により、地域特性にあった生活支援サービスや見守り等サービス提供の必要性を調査
○地域（生活）道路の整備	大規模震災・津波以外の大雨・台風等による災害対策、廃止された都市計画道路地域や危険区域内の安全安心確保のため、道路・歩道整備の必要性等の調査
○地元企業育成	地元企業の具体的な要望、支援策等の調査
○防災減災先進都市	被災地として被災他都市への支援策、全国へ情報発信の方法、意識調査
○道路施設の老朽化について	仙台市内道路・橋梁・老朽化の現状・具体的な対応策、今後の計画等を調査研究
○新設道路整備	都市計画道路整備計画の現状・進捗、今後の具体的な取り組み、新設の可能性、国の対応と考え方
○東北 77 市連携推進	東北連携による経済・観光・防災減災等の取り組み現状、今後の計画、課題、東北人の意識調査
○防災協定	他都市及び議会と協力、情報交換しながら、推進・提言
○シティセールス	東京事務所をシティセールスの拠点にするための課題、可能性、必要性の調査
○分煙の更なる推進	喫煙する人、しない人の共存を目指す施策の研究 ☆上記項目について継続的に調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1日～7月31日）

会派名 自由民主党

議員名 庄 司 俊 充

調査・研究テーマ	活動内容
<p>自然災害に関する課題</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻に際して派生する課題 （防衛、食糧、電力調達、他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済の振興、産業振興政策 ・ 地域経済の再生 ・ 地域のふれあいと活性化 ・ 自己、地域、行政、民間の防災対策について ・ 未来に向けた災害時の対応（教育の中や地域などで受け継いでいく教訓） ・ 障害者の社会参加の就労支援体制 ・ 介護予防と介護支援の充実 ・ 高齢者の健康づくり（生涯学習や市民農園など） ・ 子育て支援施設、制度の充実 ・ 災害時の対応（要介護者、未就学児等支援が必要な方への在り方） ・ 環境への負荷の少ない都市づくり ・ 水、緑保全の対策推進 ・ 個性ある新産業の創生 ・ にぎわいや豊かな生活文化をつくる産業の振興 ・ 屋上緑化 ・ 泉ヶ岳の活用のあり方 ・ 産業誘致 ・ 休耕田の利活用、市民農園の拡充 ・ 市街地の賑わい活性化 	<p>新型コロナの拡大とロシアのウクライナ侵攻等で世界情勢や円安など様々な影響が出ていることから、農業資材、飼料、燃料高騰により事業継続が厳しいなどの声が多くあった。食糧安全保障や農業資材高騰について、事業継続の支援策や、本市の農業振興について調査を行った。</p> <p>地域のにぎわい創出として回遊性を活かしたまちづくりなどの調査を行った。</p> <p>市内各地域の道路渋滞の解消と道路舗装改修などのヒアリングを行った。</p> <p>介護支援について介護事業者や介護支援をしている家庭のヒアリングを行った。</p> <p>地域や各種団体への聞き取り・現地調査や陳情要望等に関しても当局他、議会や委員会の質問等で行った。</p> <p>研究テーマについて市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>

- ・人にやさしいまちづくりについて
- ・農業振興策について
- ・新産業創出について
- ・観光振興について
- ・地方創生、一億総活躍社会実現に向けた取り組みについて
- ・地方創生を見据えた今後の地域経済活性化事業の展開について
- ・仙台市内パークゴルフ場の新設整備
- ・農地の有効活用と農と食の連携
- ・スポーツツーリズム
- ・いじめ問題
- ・商店街活性化事業について
- ・外国人観光客誘致について
- ・まちの魅力の発信、広報について
- ・高齢者や子供を地域で見守る環境づくり
- ・8050 問題
- ・引きこもり、自死問題
- ・ゴミ減量
- ・地元産木材の積極的な活用
- ・音楽ホール、文化施設について
- ・その他

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 5 年度政務活動報告書 (会派内用)

(令和 5 年 4 月 1 日～7 月 3 1 日)

会 派 名 **自由民主党**

議 員 名 **菅原正和**

政務活動テーマ	活 動 内 容
子育て支援	財団が担う役割に基づく取組の現時点での具体的な検討内容、財団の取組によってもたらされる効果、子供のみならず若者に対する支援を強化等に付いて調査等を行う。
新たな学生フリーパス	新たな学生フリーパスは、宮城交通とミヤコーバス、交通局のバスが乗り放題となり、通学において市内で乗車または下車する学生、生徒、児童を対象となり、路線バスで市外から市内に通学する学生も対象となる。対象範囲が大幅に広がることで、学生にとってはより利用しやすくなるが、販売価格等が幾らになるのかが最も関心のあるところであることから、調査及び研究を行う。
いじめ問題	再発防止に向けた学校現場での取組、教育委員会として、このいじめ防止対策等をどのように生かしていくのか、今後のいじめ防止対策の徹底について意見交換等を行う
4 病院再編	精神疾患を持つ方はストレスや環境の変化に弱く、それを理解し、幅広く意見を聴きながら、本市としても、当事者である市内二病院の意向も確認しながら、市外に移転した場合の影響等の意見交換及び調査研究を行う。
観光振興	<p>コロナ禍で大きく落ち込んだ交流人口の回復に向け、今後の観光振興、地域経済の発展について、実効性のある施策を展開していかなければなりません。環境の整備、情報発信など、実際の誘客にどうつなげていくのか、インバウンドも含め今後の観光の戦略について調査・研究を行う。</p> <p>☆上記活項目について、継続的に調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書(会派内用)
(令和5年4月1日～令和5年7月31日)

会派名 自由民主党
議員名 高橋 卓誠

政務活動テーマ	活動内容
<p>持続可能な交通安全施設のあり方と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のデジタル化について ・ 大都市防災について ・ 地域交通施策について ・ 教育環境の実態調査と改善について ・ 地域問題、町内会の実態調査 ・ 商店街の実態について ・ 眠育について ・ 茶育について ・ 観光施策について ・ 市民ホールのあり方について ・ 姉妹都市交流について ・ 4病院再編について 	<p>市政に関する市民からの要望・意見を聴取し、現地調査、実態調査を行い、関連局職員と折衝し解決に向け活動した。また、議会、委員会、調査特別委員会等で発言し、問題解決に努める。</p> <p>新聞、インターネット、専門書や資料、また有識者からの意見聴取を行い研究し、仙台市政に活かせる施策等を提言、提案を行う。</p> <p>仙台市民の福祉の向上を目的とし、市民生活をより豊かにする施策実現に向け活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 内藤 良介

政務活動テーマ	活動内容
○側溝清掃による冠水対策	○側溝清掃による浸水被害軽減のため、市の予算に負担をかけずに行う方法について市民の皆様や地元中小企業の方々との意見交換を行い、太白区役所と協力してこのシステム構築の為に企業・町内会・区役所と意見交換や現地調査を行った結果をもとに、二回目の実証実験に向けて問題点や課題について調査・議論を行った。
○地域交通の必要性について	○現在地域交通のない地域において必要としている地域があるか市民の皆様と意見交換と現地調査を行った。 ○現在地域交通を導入しようと進めている市民の方と意見交換・現地調査を行い、問題を認識。 ○中々認識をして頂けない理由や問題について調査を行い、広報活動に努めた。
○若者の地元定着について	○地元大学生とコロナ禍の状況も含めた地元定着の問題について意見交換を行い、要望等を伺った。 ○地元中小企業の方とコロナ禍の状況も含めた新規雇用の問題について意見交換を行った。 ○経済局と地元大学生と仙台のさらなる若者の定着について意見交換を行った。

○自転車事故問題について

○地元大学生と自転車事故問題解決について意見交換を行い、現地調査を行った。

○杜の都の自転車プランの改定にあたり特に問題となっているヘルメット着用の必要性について問題になっている事の調査を行った。

○様々なルールが変わる中、市民の皆様の認識不足を受け、広報や調査を行った。

○いじめ問題について

○いじめ問題を解決していくにあたり、本市の35人以下学級の事や、どのようにしたらいじめの問題解決につながるのかを、専門にしている方との意見効果や現状の問題について調査研究した。

○いじめ問題の解決において、いじめられる子を減らす為にはなにが問題となるのかを、いじめにあった方等と意見交換を行った。

○地域問題として

○地元の道路状況等の問題点について市民の方と意見交換を行った。

○南仙台駅の高架化や橋上化について地域の方と意見交換と現地調査を行い、今後どのようにしていく必要があるのかを調査・研究した。

○コロナ禍の対応について

○市民の皆様との現状問題等の意見交換を行った。

○経済回復に向けた問題等について意見交換を行った。

○防災について	<p>○マイタイムライン活用に向けて地域の方々と意見交換を行った。</p> <p>○教職員のかたや協力頂いている企業等と子供たちの防災教育について意見交換を行った。</p> <p>○他都市の防災教育等を調査し、本市においてどのように出来るのか調査研究を行った。</p> <p>○震災遺構荒浜小学校等防災を伝えるためや、経験のない子供たちに伝えるための方法を意見交換をし、調査研究を行った。</p>
---------	--

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 5 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 5 年 4 月 1 日～7 月 3 1 日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 千葉修平

政務活動テーマ	活 動 内 容
校舎など建て替え時の児童生徒の運動機会確保	令和 5 年第二回定例会の一般質問で、上野山小学校の事例を取り上げた。同小では、建て替えのため、体育館と校庭が 5 年間にわたり使用できない状況により、児童が十分に運動できない環境になるところだった。質問後、市教委と学校側が話し合い、駐車場予定地を縮小し、児童の運動スペースを確保するよう計画変更になった。
4 病院再編	令和 5 年第二回定例会の一般質問で、この問題の根底に、病院の経営問題があることを指摘。本市の日赤等 2 病院に対する経営的、医療政策的支援を検討するべきと提案した。
市道仙台城跡線と交通渋滞	令和 5 年第二回定例会の一般質問で、福島県沖地震のため仙台城跡の石垣が壊れ、市道が通行止めが続き、交通渋滞が起きている現状を指摘し、改善を求めた。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>宅地耐震化推進事業の対象区域での市役所説明会に同席し、市民に説明</p>	<p>調査の二次スクリーニング対象となった松ヶ丘、青山地区の市役所説明会に、町内会に求められ同席。地元の懸念事項となっている、老朽化した所有者不明の大規模擁壁の件と合わせ、説明を行う。</p>
<p>大年寺山公園の無尽灯廟の倒壊した石灯籠の耐震化補修が終了</p>	<p>これまで求めてきたが、本年5月に無事終了し、一般公開も再開された。</p>

令和五年度政務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1日～令和5年7月31日）

会派名 **自由民主党**

議員名 猪又 隆広

政務活動テーマ	活動内容
○仙台市の事務ミス解消の取り組み	<p>・昨年11月に発表された期末・勤勉手当に係る源泉所得税の納付遅延から半年が経過した。昨年12月より全庁で源泉所得税の徴収漏れについての全庁での調査が行われ、その最終結果が示されたが、結果を見ると平成30年1月以降5年分の約20万件に及ぶ支出のデータを調査した結果、計264件、1883万円に上るとのことである。</p> <p>これまでも議会の中でも議論が行われてきた源泉所得税に係る支払処理に関する財務会計システムについて、これまで担当職員の手書き処理が多くあり、納入済通知書等もエクセルに打ち込む作業などそもそもシステムとはおおよそ言えないような環境の中で運用がなされてきた。補正予算の中では、財務会計システムにデータを入力することで、会計課がデータを出力することができ、人によるWチェックでミスを大幅に減らすことができるようになるとのことであるが、今回のシステム導入による効果と実効性については今後も注視していかねばならない。</p>
○本市のいじめによる自死ゼロの取り組みと実効性	<p>・今般の寺岡小の児童のいじめ重大事態に係る調査結果の答申が出されことで市教委としていじめ防止対策を答申の提言に沿った形で公表がなされた。今般の答申を受けた対応策を明確化する必要があると考える。また、いじめによって本市の子どもたちが、誰一人自らの命を絶つという選択をさせない学校・家庭環境を作っていかななくてはならないという覚悟をしっかりと見せる必要がある。その根底には、教育現場の忙しさ、教員の多忙化といったところから、子どもに向き合う時間が十分に確保できていない現状</p>

があるなかで、そこを解消していくことこそが、いじめ防止の大きな一歩だと考える。教員増を求めていくとともに、子どもと向き合う教員を増やす取り組みを前に進めなければならない。

○ 生成AIの本市の活用

・生成AIは、インターネット上の大量のデータを集約し、質問を投げかけると自然な文章で回答が出てくることから、この生成AIに対する期待が高まる一方、利用者側のモラルや偽情報や個人情報の漏洩、著作権侵害などの懸念が示されている。代表的な生成AIとして「チャットGPT」が挙げられるが、日本でも経済、教育、大学、自治体など様々な分野でその活用について調査研究や議論が日々なされている。本市でも積極的に活用すべきであり、職員の作業効率化の面からもまずは試験的に運用を行っていくことやデジタル戦略推進部内にプロジェクトチームを発足させ、その利活用の幅を検討すべきである。

○プラスチック一括回収とごみ処理手数料の在り方

・本市では、仙台市一般廃棄物処理基本計画に基づき、持続可能な資源循環都市を目指している。現計画は令和3年度から12年度までの10年間の指針を定めたもので、喫緊の課題であるプラスチック資源循環に重点的に取り組み、一層のごみ減量・リサイクルを推進することとしている。本年4月からは他の政令市に先駆け、これまで焼却していた、ハンガー等の製品プラスチックも、プラスチック資源として一括回収し、リサイクルを行っているが引き続き、大きく前に進めていくべきである。

また、一般廃棄物処理基本計画では、ごみ処理手数料のあり方について検討するとされている。本市では100キロまでは一律1,500円、100kgを超過した場合は10kgごとに150円ずつ加算するという手数料設定を行っている。他の政令市では10kg単位での手数料設定を実施している自治体もあるが、利便性の向上等という観点で考えた際に、市民や事業者が持ち込む一般廃棄物の処理手数料を、10kg刻みで算出することを検討すべきではないか。市民の細かいニーズにもしっかりと応えていくべきと考える。

○仙台国際ハーフマラソンファミリーラン

・コロナからようやく市民イベントが戻ってきた。深緑の杜の都を駆け抜ける「仙台国際ハーフマラソン 2023」もその中の一つだ。本来ならランナーから大変人気が高い仙台国際ハーフマラソンであるが、優先出走権がすべて行使されず、追加の一般募集がなされたことは人気に陰りが出てきたのかと危惧するところである。また、参加費の高騰も気になる。昨年開催された仙台国際ハーフマラソン大会 2022 チャレンジレースでは 10,000 円と 4,000 円値上がりをしており、今回大会も同様の 10,000 円の参加費となっている。物価高騰している中での、大会経費増も理解するが、市民との一体感を醸成する仙台ハーフマラソンの今後に懸念を覚える。良い側面もあった。本大会前の「仙台ハーフファミリーラン」だ。今回は小 1~3 年生までの限定であったが、このファミリーランがきっかけで、走ることが好きになり、将来の仙台国際ハーフマラソンのランナーの卵や仙台出身のランナーとして世界に羽ばたく子どもの育成や夢を持つ力に繋がるという大きな期待を込めてその対象を小学校 6 年生まで拡充することを提案する。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○財政	○地方財政と政府政策との関係性、「新三本の矢」地方創生広域連携・公共施設の集約化・複合化、歳出の削減効果 ○公営企業の効率化 ○市債の独自発行の可能性
○経済活性化	○自治体の経済政策の比較検討、本市の採用すべき政策の調査 ○外国資本の導入の可能性
○復興の取組	○国と自治体との関係、官民連携の在り方調査
○まちづくり	○人口減少とまちづくりに関する調査 ○市民協働の可能性と陥穽
○子育て支援	○子育て支援制度と自治体行政 現行制度の概要と新制度の概要の関連性、利用者側から見た新制度の在り方、市町村議会の課題と事業計画の在り方、乳幼児医療制度の充実 ○切れ目のない子育ての検証
○議会改革	○地方分権改革と地方議員の地位、議員の報酬の在り方、議員の役割と活動の活性化 ○議員権能の強化と市民福利の向上
○防災危機管理	○地方議会の役割、東日本大震災と議会、危機管理のフェーズ、事前対策、復旧時の対応、防災対策基本条例(継続)について、ミサイル対応、国民保護法と自治体 ○震災時の議会の在り方の検証
○議会改革	○議会の政策立案機能、公職選挙制度の研修と充実 ○市民の議会理解の促進と権能の拡大
○高齢者政策	○高齢者施設におけるCAPP(動物介在活動)の効実態調査、仙台市の政策への実現性の調査 ○減少傾向にある老人クラブの活性化策調査、地域貢献 ○高齢者の社会参加
○図書館行政	○利用活性化政策、宮城野図書館利用実態調査、仙台メディアテーク図書館視察、メディアテークの検証と今後の可能性 ○蔵書の管理と市民要望への対応
○市有地の有効利用	○市有地の有効利用と施設の複合化の効果と問題点、市民サービスの在り方(公園の利用) ○先進都市公文書館視察。基礎調査の上での本市での活用 ○公文書の管理と活用
○公文書の管理と利用	○ダンス、合気道、ソフトテニスにおける高齢者の実態調査と意見聴取、政策立案者との協議と実践
○高齢者と生涯スポーツ	○教育再生に関しての方策調査、標準学力検査の検証と活用、 ○教職員の役割の認識と実践 ○青少年の健全育成、地域協力の確保策の検討
○教育	

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○自治体予算の在り方	○予算の考え方、歳入歳出のポイント、財政診断のノウハウとこれからの自治体財政運営について継続調査
○政務調査費	○政務活動費の再検証と制度の在り方、関連条例の見直し等 ○評価と充実
○地域包括ケア	○地域包括ケアシステムの市民理解と行政の役割 認知症対策調査、地域団体との連携の在り方
○国民健康保険制度	○国民健康保険制度の理解と今後の運用について ○制度運営の限界と可能性
○公園整備と利活用	○公園空白地における整備手法の研究 PFI ○時代の変遷に対応した公園法の在り方についての調査
○介護保険の現状と自治体の役割(研修)	○自治体リーダーの在り方と評価 ○自治体財政分析 ○人口減少社会の地域経営
○自治体財政研究 継続	○日本の地域再生に於ける米国型TPPの活用の可能性 ○グラスツールと社会変革 (日本改革のうねりとその役割) ○地方財政にやさしい環境政策
○経済活性化	○商店街の対策(振興、後継者育成、地域連携) ○新産業育成 ○未来型放射光施設の活かし方 ○起業と継続支援の在り方の研究
○安心安全のまちづくり	○防犯カメラ、一斉メールの運用の可能性。安心安全まちづくり基本計画調査 ○風水害対策の具体的取組みについて ○国土強靱化計画 ○国民保護法の実際の運用への取組み ○冬季の除融雪対策について ○警察署と交番の適正配置
○都市の在り方	○仙台型大都市像の構築の検証(継続)、特別自治市の実現の方策
○市民協働	○審議会等の在り方、委員の選任の工夫
○綱紀	○朝礼の活用と効果 継続 ○公益通報制度の活用と運用について ○始業就業時間の見直しと効果
○人材育成	○仙台市職員の人材育成、研修の在り方 ○海外研修の充実
○働き方改革	○教職員を含めた働き方改革
○文化行政	○伝統文化振興 ○演劇振興 ○クラシック音楽振興 ○ジャズを始めとしてポップスの市民生活に与える可能性と活かし方 ○音楽ホールの検討、県市の役割分担

各種団体(仙台市内)における地産地消対策等、調査やヒアリング等を行い活動

政務活動テーマ	活動内容
○新庁舎議会棟建設	○新庁舎議会棟の建設検討、市民利用の可能性の検討 ○定禅寺通りと新庁舎の一体的開発と活性化についての考察
○仙台駅東地区開発	○仙台駅東地区の総合的な活性化対策の研究 ○まちづくり協議会の活用 ○活動区域の拡大の検討 ○宮城県所有地との連携
○グリーンフェアに対する取り組み	○仙台市の緑政の総括と今後の活用 ○仙台藩時代からの緑政の活用 ○グリネストシテイ実現の可能性
○大学後の活用	○産学官金連携 ○行政課題解決のための取り組み ○仙台市職員の研修のための活用

令和5年度務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1日～7月31日）

会派名 自由民主党
議員名 赤間次彦

調査・研究テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある都市づくり ・障害者スポーツについて ・障害者施設について ・地域経済の再生 ・災害に強いまちづくり ・高齢者・障がい者・子育て等の支援について ・豊かな農業施策の確立、食の安全について ・期待を担う青少年の、健全育成と教育充実について ・文化アミューズメント、施設等について ・音楽ホールについて ・地域ブランドについて ・都市整備（都市計画道路、都市機能）について ・交通事業 ・相互交流事業について ・パークゴルフ場の開設・利用・整備、運営経営体、利用者の反応等の調査 ・シティセールス、インバウンド、アウトバウンド ・国際姉妹都市交流について ・高齢者の労働参加について ・地球温暖化対策 ・企業誘致と雇用 ・市民待望の文化・スポーツ施策の充実について ・いじめ問題、教育の充実について ・医療提供体制について ・地域商店街の経済助成と活性化について ・公営企業の民営化や官民連携等について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 ・資料収集 ・関係者からの聞き取り ・先進事例の調査 <p>研究テーマや、時事的な問題等について市民や各種団体への訪問調査、懇談会を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1日～7月31日）

所属会派名 自由民主党

議員名 鈴木 勇治

政務活動テーマ	活 動 内 容
環境とごみ問題	<ul style="list-style-type: none">・環境負荷低減策の充実の働きかけを行った。・家畜糞尿、食料品の食べ残し、農業生産物等のメタンガス化施設の普及、坪沼地区での可能性を調査した。また学校給食センター食用廃油の活用策を展開した。・同施設の適正立地の模索を行った・太陽光発電所事業の適正立地と活用及び規制等について研究をした
高齢者介護基盤の充実	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の入所施設の整備促進を進める。・介護事業者の団体及び介護を続ける家庭等の訪問調査を行った。・高齢者、障害者等の食事自立支援サービス事業の充実・・・事業者の調査を行い当局に改善を求めた。・適正立地の模索と安定経営と運営維持についてヒアリングをおこなった・次期保険計画の調査について
大都市制度の在り方及び地方都市の権限の拡充	<ul style="list-style-type: none">・住民ニーズに的確に応え、市民にとってより充実したサービスを提供していく為には、権限、財源をもつことが不可欠である。また早急な復興に向けては、スピード感も欠かせないこともあり、指定都市市長会で検討を進めてきた特別自治市を含め、新たな大都市制度実現に向けて市民の議論を喚起し積極的に取り組んだ。
議会改革 ・開かれた議会のあり方 ・市議会の ICT 化	<ul style="list-style-type: none">・開かれた議会の在り方についての進化について、また議会の ICT 化の進捗について、他市議会との情報収集、必要性の懇談を行った。

都市交通施策と基幹道路の安全確保
交通弱者対策と狹隘道路の安全確保

- ・交通安全施設業協同組合との勉強会や懇談会を重ね現状と改善策を市当局に提言した。
- ・狹隘道路の改善について、土地家屋調査士の活用について同協会会員との勉強会に参加
- ・通学路の安心安全対策の徹底を求め、現場調査、学校や保護者のヒアリングなどを行った。

引き続き雨水被害と 2022.3.16 地震の被害関連

- ・農業基盤の被害復旧
- ・道路等生活環境の復旧促進
- ・各種支援策の円滑な導入
- ・風水害時の避難計画と避難所の在り方

- ・取り残された被害個所の調査、被害者からの聞き取りを行い、農業施設、生活施設の安全対策の調査。

新型コロナ感染症の蔓延に影響される中小零細企業の経営状況の影響

市民生活の自粛による経済影響が深刻となることから訪問ヒアリングを行った。今後の支援策などの意見を聴取した。

- ・関連事業者支援の適切な活用
- ・中小企業等事業からの相談、意見把握、指導をおこなった。

新型コロナ感染症対策

- ・学校、保育所、高齢者施設の換気対策とウイルス除去方策について

生活環境の維持

- ・コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業がとりのこされることの無いよう、該当箇所の点検と調査をおこない行政側への働きかけを行った

農業関係基盤

- ・上記同様、コロナ感染予防対策による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査を行い行政側への働きかけをおこなった。

<p>有害鳥獣対策</p>	<p>・被害箇所の調査</p>
<p>農業生産物の産地形成と販売方法</p>	<p>・山元町、蔵王町、山形県天童市高畠町旭町、福島市、米沢市、中山町など</p>
<p>仙台日赤病院を含む4病院統合移転</p>	<p>・市民及び有識者へのヒアリングをおこなった。 市民活動に対する情報提供</p>

※この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1～7月31日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 西澤 啓文

政務活動テーマ	活 動 内 容
1. 観光施策について	コロナ後の国内外の観光客の仙台への誘客に向けての方策について調査・研究
2. スポーツ施設の整備について	民間活力導入も含め、更なるスポーツ施設整備を進めることで、市民のスポーツ活動をより活性化する方策について調査・研究
3. 中心市街地の再整備について	中心市街地の再整備に向けてビルオーナー等へのインセンティブを設けることでその促進を図る方策の調査・研究
4. 空き家対策について	現在特に大都市においてそのニーズが高まっている、入居予定者によるリノベーションを推進し、その有効利用を図る方策について調査・研究
5. 農業振興策について	農業振興に向けて、6次産業化への方策について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
6. 高齢者等の安全・安心の確保について	心身に不安をかかえる独り暮らし高齢者や重度の身体障害者の安全・安心確保策について調査・研究
7. 仙台港の利用促進について	仙台港の管理に本市がより積極的に関わることにより、この周辺への関連産業集積とそれによる雇用の促進を図る方策について調査・研究
8. 仙台空港の利用促進について	コロナ後の仙台空港の利用促進に向け、今後本市がどの様に関わる必要があるかについて調査・研究
9. 物流拠点の機能強化策について	JR 貨物ヤード移転に伴い、その周辺も物流拠点としての整備を推進することで、東北の物流の一大集積拠点として機能するための方策について調査・研究

令和 5 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 5 年 4 月 1 日～7 月 3 1 日）

会 派 名 自由民主党
議 員 名 野 田 讓

政務活動テーマ	活 動 内 容
○観光振興について	感染状況や観光需要の動向等を踏まえて臨機応変に対応し、アフターコロナの経済再生のため、大きく落ち込んだ交流人口の回復・拡大を図るため調査・意見聴取等を行う。
○音楽ホールと震災メモリアル拠点の複合化について	杜の都を象徴する青葉山エリアの魅力を更に高め、本市の都市個性を発信し、地域経済の活性化に向けた取組について調査等を行う。
○4 病院再編について	・市内の 2 病院は、新型コロナウイルス感染症に係る対応についても大きな役割を果たす等、市民にとって重要な医療機関であり、市域外移転ともなれば本市の医療提供体制に重大な影響を及ぼすものであるため、仙台医療に与える影響などについて調査等を行う。
○施設の老朽化対策	・老朽建築物の割合が高まってビルの更新が進まない、建築費の高騰、賃料の低迷による収益性の悪化などに対する建替え促進助成金制度の具体的反応や反響等の調査等を行う。
○財政問題	・財源確保と財政規律の現状について調査・研究
○いじめ問題	・スクールカウンセラー等、計画的な人員拡充、いじめ対策選任教諭・児童支援教諭の拡充について引き続き調査研究
○子育て支援	・子育て支援制度と自治体行政、重要時医療の拡充に向けた調査。
○安全・安心な街づくり	防犯カメラを活用した犯罪抑止策や、緑地や公園の整備による安心感の向上。地域住民のコミュニケーションの促進を計り、犯罪の減少と市民の安心・安全を図る為の調査及び研究、意見徴収等を行う。
○ユアテックスタジアム	スタジアムの多様な利活用、Jリーグでの使用に耐え得る芝の保全、開催日以外の利活用等について調査及び研究。
○七北田公園	周辺環境の変化や利活用の状況、地域の移行等を踏まえた改修、リニューアルが必要な時期を迎えている七北田公園について、サッカースタジアムを有する総合公園として泉中央地区の賑わい創出を目指すべく意見交換、調査及び研究を行う。
○その他市政全般	☆上記項目等、継続的に調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和5年度政務活動報告書

(令和5年4月1日～7月31日)

会 派 名 自由民主党
議 員 名 橋 本 啓 一

仙台市を取り巻く、少子高齢化・人口減少の進展という厳しい状況にあって、民間と行政が力を合わせ新しい発想で経済をはじめ福祉、教育、そしてまちづくりなど、持続的な発展を実現する責務があります。又、新型コロナウイルス感染症の再拡大に備えるなど、市民生活をしっかり守る取り組みを強力に推し進めて参ります。

覚悟を持ち、市民一人ひとりの声に対応した市政運営を実行する為に、下記の各般にわたる調査研究を行いました。

政務活動テーマ	活 動 内 容
◆新型コロナウイルス感染症対策	
○アフターコロナの対応について	セルフケアをはじめ、フレイルリスクのある高齢者等への指導、普及啓発について調査を行う。
○感染拡大防止と医療体制の整備について	コロナ禍の中で医療機関と高齢者・障害者福祉施設が連携した徹底感染防止について、事業者等と意見交換を行うとともに調査を引き続き進める。
○雇用の維持対策と財政支援について	飲食店や中小企業等の資金繰りや経営の支援など、国からの支援協力金の拡充や政令市への直接交付支援に関する調査を引き続き進める。
○適切・迅速な情報発信について	新型コロナ対策の具体的かつ迅速な情報発信の取り組み方について調査を引き続き進める。
○新型コロナウイルスの検査体制の充実策について	民間事業者と連携したPCR検査の確立をはじめ、感染者の行動歴など、万全な疫学調査体制づくり、積極的情報開示のあり方に対する意見交換を行うとともに調査を行った。
○医療・福祉の施策について	コールセンター体制の対応拡充、#7119電話相談体制の活用、ワクチン不足への対応等について、各都市の取り組み状況等を引き続き調査した。又、軽症者（自宅待機者）の早急な受け入れ体制の拡充と、自粛期間中の健康維持について聴取を引き続き行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○感染症への柔軟な対応について	感染症法等に関する権限や運用について都道府県から政令市への委譲などについて調査を進める。
○経済・雇用支援について	サービス業や飲食業、宿泊業等への経営支援や産業振興事業団を活用した地元中小企業への販路確保対策、又、テレワーク導入の為の支援について、調査を行う。
○教育、保育への支援について	AI型教材の導入によるオンライン教育の推進と児童クラブにおける人材と安全の確保、在宅児童の勉強のあり方について調査を進める。
◆市民生活の安全・安心の推進	
○4病院の移転・再構想について	移転・再構想に関する、精神医療や救急医療体制の適切なあり方について、関連する医療関係者から意見聴取を進める。
○地域コミュニティづくりと活性化対策について	高齢化が進展する町内会組織における地域の課題解決に向けた取組みとNPOや民間団体、PTA団体等の持つノウハウを生かした地域活動の取組みについて調査を進める
○区役所のサービス向上の取組みについて	区役所間の格付けを導入した、市民サービス向上の調査を行う。又、更なるワンストップ窓口を活かした、市民にわかりやすい窓口業務について、調査を進める。
○消防団、交通指導隊の機能強化と支援について	消防団、交通指導隊の充足率アップの取組みと、小中学校のPTAや子供会育成会、オヤジの会といった地域関係団体との連携・ネットワークづくりについて調査・研究を行う。
○地域の防犯・防災とその強化について	町内会をはじめ、体育振興会、子供会育成会、商店会、オヤジの会等の情報共有の取組みと互いの活動を補完し合う一体となった地域の安全・安心につながる体制づくりの調査を進める。
○更なる投票率アップと適正な選挙事務改善について	大学生・専門学校生・高校生を対象とした若年層の投票率アップ等の取組みに関する調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○自助・共助の仕組みづくりについて	中高大学生の力を活かした地域防災リーダーを育成し、地震や豪雨等の自然災害に備えた自主防災組織の体制強化について意見交換、調査研究を進める。又、女性の視点を踏まえた防災対策の調査を行うとともに、民間事業者と連携した帰宅困難者対策の充実について調査を行う。
○一般家庭ごみの排出抑制について	コロナ禍以降も減量とまらない一般家庭ごみについて、リサイクルできる製品プラスチック等の取り扱いについて調査を進める。
○海洋汚染への対応について	廃プラスチック類の排出抑制の取り組みと民間事業者の対応について調査を進める。
◆社会保障充実の推進 ○地域福祉の強化について	介護保険事業計画のもと、介護報酬や人材確保等の支援のあり方等について、調査を行う。又、地域包括ケアシステム構築に対応した包括支援センターの更なる機能強化策について各センターへの調査を進める。
○地域医療の充実について	市内における二次・三次救急の適正な配置バランスのあり方や、地域のかかりつけ医との連携強化の促進について調査を行う。又、市立病院におけるガン対策や一体的なうつ対策と、精神医療や小児救急医療と夜間こども救急診療所の体制強化について、調査研究を進める。
○障害者の就労支援について	障害者の資格取得支援や就労情報提供、民間事業者とのマッチング等、各種支援の効果的なあり方について調査・研究を行う
○介護サービスの充実について	介護報酬に左右されない介護サービス基盤の充実と体制づくりについて意見交換と調査を行った。又、認知症対策など介護予防事業や健康づくり施策拡充の調査を進める。
○認知症の方と家族への支援について	認知症への理解を深めるとともに、認知症の方とその家族と連携し、支援体制づくりについて調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>○中・高齢者の生きがいづくりについて</p> <p>◆確かな教育体制と次世代育成の推進</p> <p>○教育環境の充実支援策について</p> <p>○子育て環境支援の拡充について</p> <p>○地域における子育て支援について</p> <p>○子どもの貧困対策について</p> <p>○教育環境の整備について</p> <p>○いじめ対策について</p>	<p>生きがいを持って健康でいきいきと暮らせる環境づくり、ICT デジタルの活用の取組みについて調査を進める。</p> <p>生きがいづくり、民間団体の不登校対策の支援拡充策と経済的に困っている家庭の中高生への「タダゼミ」等の NPO 団体との連携による支援策について聴取・調査を行う。</p> <p>幼児教育と保育の無償化に伴う財政支援のあり方や、子ども医療費助成への拡大的財政措置に関する意見交換を行い調査を進める。</p> <p>児童センターと小学校における放課後子供教室のあり方、そして、地域資源（人材）を活かした子育て支援のバックアップ等に関する調査研究を進める。又、待機児童対策として、幼稚園から認定こども園のスムーズな移行や延長保育、休日夜間保育の充実、保育所の拡充に伴う人材と質の確保に向けた待遇改善、又、認定こども園への移行に向けた環境、整備に関連し、事業者への聴き取り、調査を行う。</p> <p>経済的困窮家庭の子供の経済状況や支援に取り組む民間団体の活動の調査を進める。</p> <p>又、学習支援を実施している民間ボランティア団体についての情報収集や取組みについても調査を行う。</p> <p>少人数学級の推進といじめ問題の対策強化、特別支援教育の充実、不登校対策について意見聴取・調査を行う。学校支援地域本部の対象校拡大と不登校対策に関連したスクールソーシャルワーカーの強化について研究調査を行う。ICT を活用した教育環境づくりについても民間事業者との意見交換を行う。</p> <p>いじめ対策専任教諭の活用方法の検証、フリースクール等の取組みや特別支援コーディネーターの適正配置、特別支援教育の更なる推進に関する調査研究を進める。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>◆地域経済の活性化の推進</p> <p>○既存の地元企業支援について</p> <p>○アフターコロナを見据えた経済観光対策について</p> <p>○デジタル化に向けた実施支援策について</p> <p>○地域経済活性化に向けた経済政策</p> <p>○中小企業の体力強化について</p> <p>○農業施策の振興等について</p> <p>○賑わいと活力のある経済の活性化について</p> <p>○広域連携と観光交流拡大について</p> <p>○若者への就労支援について</p>	<p>スタートアップだけでなく、地域の99%を占める既存中小企業の必要な支援のあり方、国・県の補助メニュー、サポートのあり方について調査を行う。</p> <p>東北の核となる仙台市の果たす役割と広域連携・交流を踏まえた取組みや誘客促進策について、有識者等からの意見聴取を進める。</p> <p>マイナンバーカード活用による手続きの効率化やデジタル化の基盤整備の支援、ICT教育の推進に関する調査を行う。</p> <p>東北放射光施設活用による活性化策や東北圏域内における観光・経済交流の連携によるイノベーション都市実現に向けた取組に関する調査を行う。</p> <p>中小企業の抱える資金繰り等の課題や販路拡大に対する支援のあり方、更に産業振興事業団等との積極的な連携について検証と調査を進める。</p> <p>高齢化の進行による農地の耕作放棄地対策や後継者不足に対応した人材育成策、又、農地の集約、市民農園への転用など、現状を踏まえた課題解消に向けた調査を行う。</p> <p>国家戦略特区の活用や、在仙大学間の連携による都市の競争力強化策や仙台駅前の再開発を踏まえた市中心部の活性化について（地下街の検討を含め）調査研究を進めるとともに、交流人口拡大等について調査を行う。</p> <p>アフターコロナを見据えた東北圏域の広域的連携強化や仙台空港、仙台港の積極的活用によるインバウンド、アウトバウンドの一体的な推進について、調査を進める。</p> <p>キャリアカウンセリングを支援する「若者サポートステーション」の利用促進や若者への情報提供などを行うジョブサポーター強化の調査を進める。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○深刻化する介護福祉分野での人手不足対策について	福祉現場での即戦力となる外国人人材の受け入れを希望する福祉関連事業者からの意見を聴取するとともに、外国人研修生募集の取組みについて調査を進める。
◆未来への魅力あるまちづくり ○公共交通の利便性向上と利用促進について	市中心部の渋滞解消にむけて、地域ごとの効果的なバス、地下鉄の連携強化やIC乗車券イクスカ等を活用した活性化策について調査、研究を進める。又、民間事業者等が取り組む地域循環バスの有効性の検証や活用について、調査研究を行う。
○地震、豪雨への対策について	頻発するゲリラ豪雨や浸水への対策について、民間事業者のノウハウや技術を活かした取組みについて調査を進める。
○道路、橋梁、トンネル、公園等の長寿命化対策について	老朽化が進む道路関連施設の適切な長寿命化の取組みについて調査を行う。又、長寿命化強化の為の財政的強化策としてネーミングライツ等の積極的導入の調査を進める。
○市郊外のまちづくりと空き家対策について	進行する人口減少や高齢化対策として郊外における住みかえや空き家の有効活用について不動産業界団体との意見交換会を行い調査を進める。
○文化施設の充実について	文化振興の拠点となる音楽ホールの早期建設に向けた課題のあらいだしと先進地の取組み事例等の調査を進める。
○都市計画道路の見直し後の整備について	都市計画道路が廃止された既存道路の早期の再整備と廃止予定の先行取得用地の有効活用等について調査を行う。
○街路樹の適正な管理について	市内各所に見られる根上りの対策と老化した街路樹の更新のあり方の取組みについて調査を進める。
○市街化調整区域の現状について	市街化調整区域における建築違反状況の調査を行うとともに、地域の実状に応じた土地利用のあり方について調査を進める。
○税の視点を踏まえた空き家対策について	空き家対策として、固定資産税や都市計画税の課税の取組みについて聴取を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
<p>◆健全な財政運営と財政基盤、そして行政改革</p> <p>○責任をもった財政運営について</p> <p>○行財政改革の一層の推進と市議会の活性化について</p>	<p>国からの税源移譲等のあり方を調査するとともに、事業の厳正化や民間活力の活用を通じた財政健全化に向けた調査を行う。</p> <p>民間委託の推進や市役所体質の改革、コンプライアンス順守徹底のための意見交換を行う。又、区役所の土、日開放や平日の窓口業務の時間延長等の拡充についても調査を進める。</p> <p>公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化の推進について調査を行う。</p>

令和5年度政務活動報告書（会派内用）

（令和5年4月1日～7月31日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 加藤 和彦

政務活動テーマ	活 動 内 容
<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大の防止と収束に向けた対策・ 中小企業支援対策・ アフターコロナを見据えた経済対策・ 東北連携、仙山連携の強化・ 豪雨、防災対策・ 教育、子育て環境対策・ 農業振興・ 有害鳥獣対策・ 区役所機能強化	<ul style="list-style-type: none">○地域街づくり○西部地域仙山連携強化○郊外型都市構造の強化○地域、町内会、各種団体 <p>仙台市域内外における地域活性化対策など、現地調査、ヒアリング、インターネット等を使用し調査活動を行いました。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。